

そのリプレース、ちょっと待った！

# ファイルサーバを DXツールに変える たった2つのポイント



**Panasonic**

パナソニック デジタル株式会社

# 本資料でお伝えすること

ハードの保守切れで、仕方なく。ファイルサーバのリプレースはそんなイメージが強いかもしれませんが、2つのポイントに着目するだけで、ファイルサーバはDXを加速させるツールに生まれ変わります。本資料では、ユーザーがファイルサーバに抱えている課題から、リプレースの際に押さえておくべきポイント、導入効果の算出方法までをまとめました。

## 内容

1. ファイルサーバをDX視点で見ると
2. ユーザーはどう感じている？
3. 単なる保管庫から「ナレッジ集」へ
4. リプレースする際に重視すべき2つのポイント

# 1. ファイルサーバをDX視点で見ると

ファイルサーバをリプレースする際、検討項目としてまず挙げられるのは「**運用コスト**」「**セキュリティ**」の2点です。しかし近年では、DXの観点から「**ファイル管理の利便性**」も大きく注目されるようになっていきます。



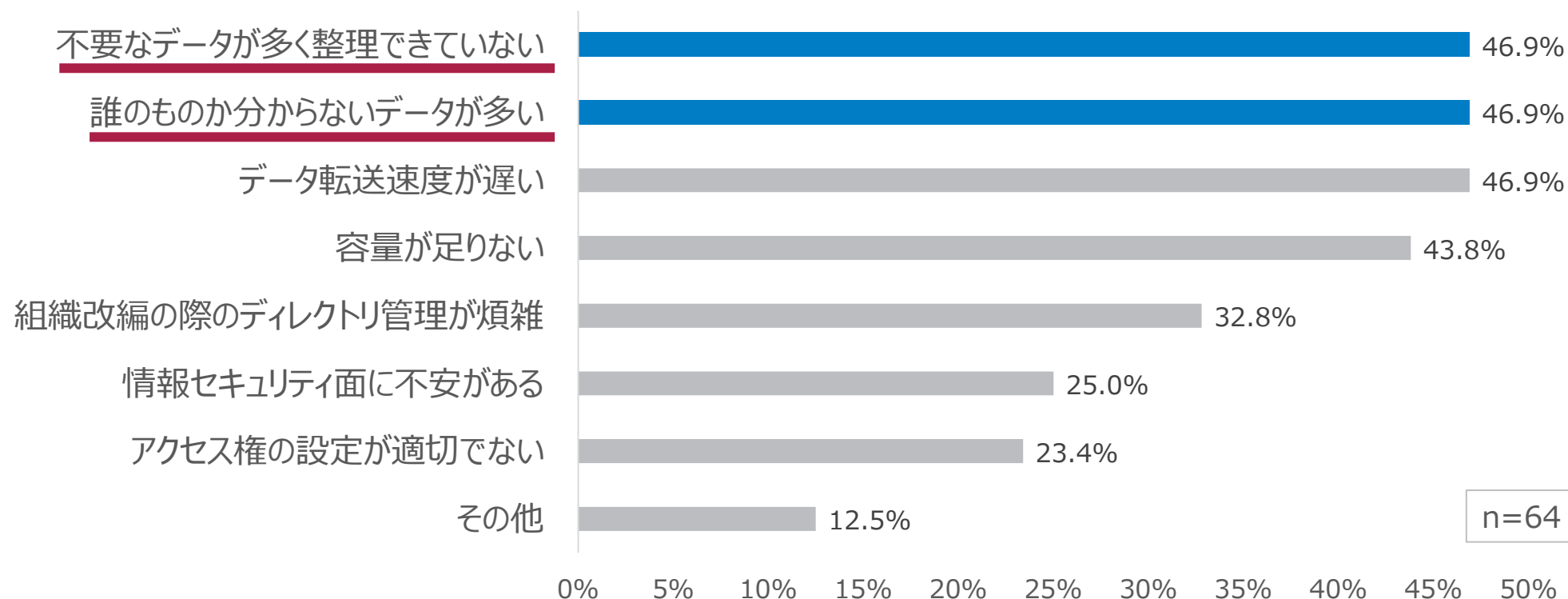
ファイル管理の  
利便性

運用コスト

セキュリティ

## 2. ユーザーはどう感じている？

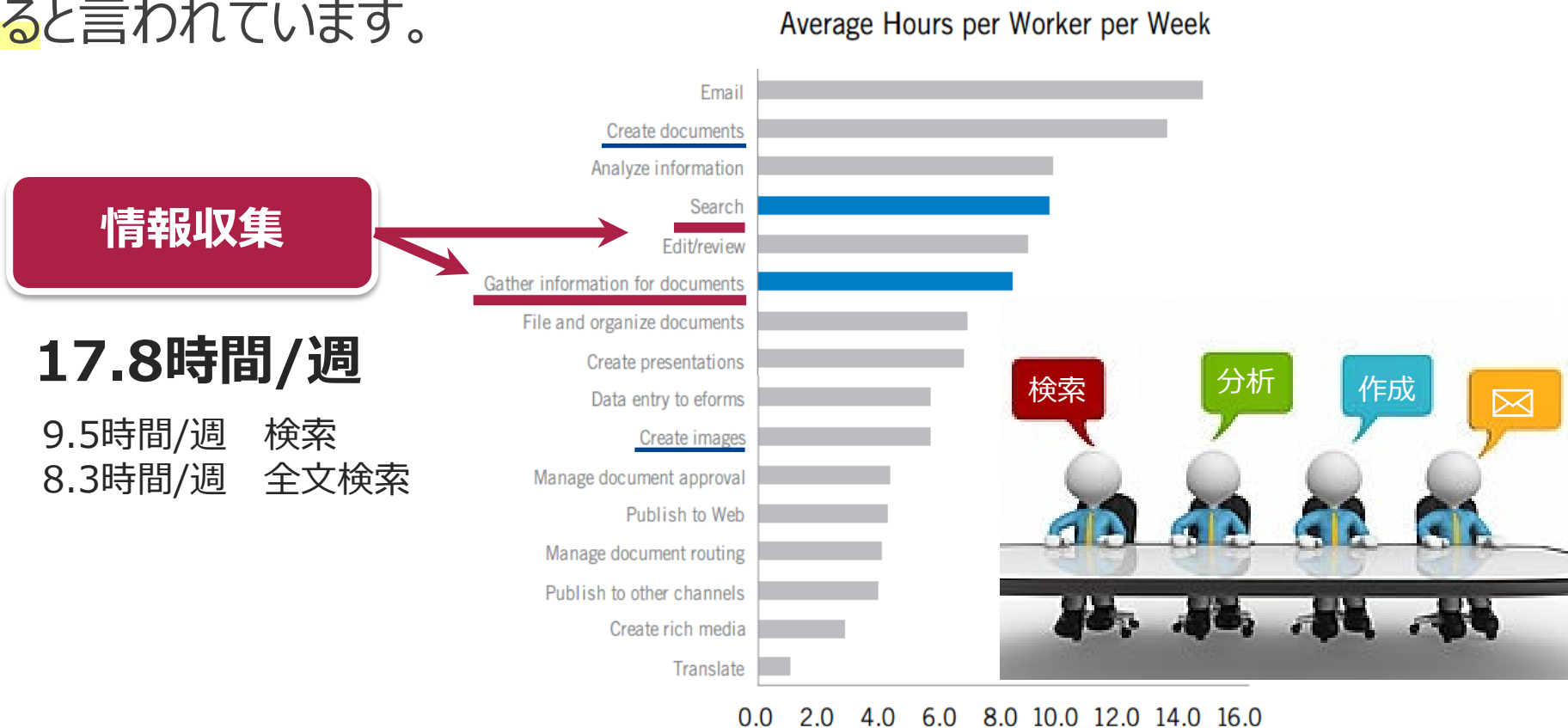
ユーザーはどのように感じているのでしょうか。注目すべきは「**不要なデータが多く整理できていない**」「**誰のものか分からないデータが多い**」の2点です。本来なら運用でカバーできるものですが、**実態としてはカバーできておらず、利便性を損ねていることが分かります。**



出典：ITmedia ビジネスオンライン「ファイルサーバかクラウドストレージか？ 読者調査で見た不満と課題への処方箋」（2022年3月7日）  
<https://www.itmedia.co.jp/business/articles/2203/07/news008.html>

## 2. ユーザーはどう感じている？

「不要なデータが多く整理できていない」「誰のものか分からないデータが多い」ファイルサーバは、単なる保管庫に近い状態です。事実として、ホワイトカラーは、業務時間の約3割を情報検索に費やしていると言われています。



Return on Information: Improving your ROI with Google Enterprise Search  
ref. google white paper

### 3. 単なる保管庫から「ナレッジ集」へ

保管庫から脱却するために、1つずつ見ていきましょう。

ファイルサーバの利用においては、  
運用ルールを細かく策定するのが一般的です。

しかし、多くのユーザーが  
「不要なデータが多く整理できていない」  
と感じていることからわかるように、  
運用ルールが守られていないのが実態です。

整理できていないファイルサーバでは、  
データの重複も起こりやすくなってしまいます。

#### 名前

- ★一時的に格納★発表資料
- 01\_経営方針
- 02\_顧客
- 03\_会議
- 0314〇〇さん壮行会写真
- 04\_製品情報
- 05\_マニュアル
- 大阪営業所フォルダ

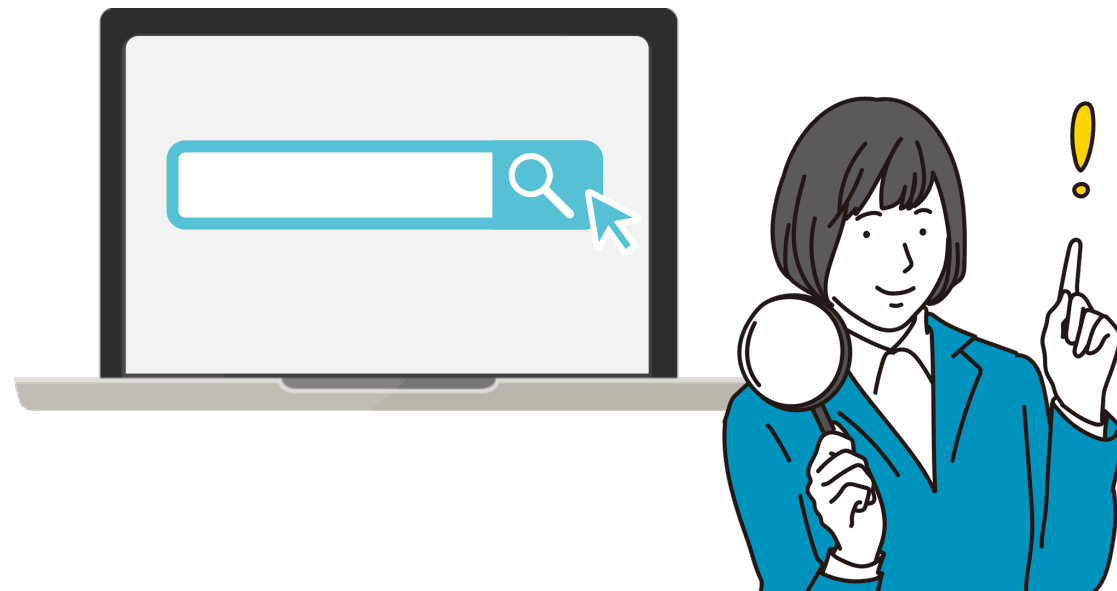


### 3. 単なる保管庫から「ナレッジ集」へ

利用ユーザー数が増えれば増えるほど、細かい運用ルールは守られにくくなります。

そこで、**運用ルールをシンプルにし、検索エンジンを組み合わせる**ことをおすすめします。

最低限のルールだけ守ってもらい、検索すれば欲しい情報へ辿りつけるような構造にすることで、**ファイルを探す時間を短縮できる**うえ、**データの重複も抑えられます**。



### 3. 単なる保管庫から「ナレッジ集」へ

「誰のものか分からないデータが多い」ことについては、社内で作成されたOfficeファイルであれば、プロパティを確認することで作成者・最終更新者を確認することが可能です。

ですが、1つずつファイルのプロパティを確認するのは現実的ではありません。ファイル一覧で確認できるしくみを作っておくことが望ましいでしょう。



プロパティ

作成者

Taro Matsushita

前回保存者

Goro Matsushita

### 3. 単なる保管庫から「ナレッジ集」へ

作成者・最終更新者がすぐに一覧で確認できると、  
DXの観点でもメリットがあります。

資料作成者 = その情報に詳しい人のため、  
「誰に聞けばいいかわからない」ということがなくなり、  
コミュニケーションやナレッジ共有が期待できます。

テレワーク時代では「ちょっと聞いてみる」ことが  
非常に難しくなっていますが、  
このしくみを作っておくことで  
新入社員や中途社員も入社後すぐに活躍できる  
職場環境を創出できます。



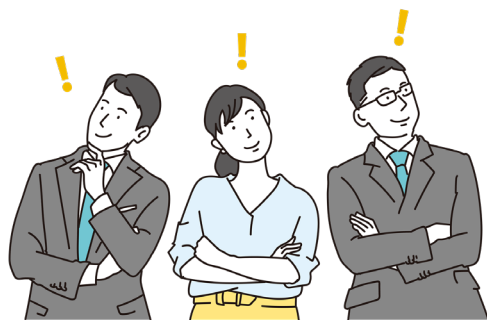
### 3. 単なる保管庫から「ナレッジ集」へ

このように、保管庫に眠っているナレッジを活用するには、「検索」が不可欠です。

検索性を高めることで、下記4つのメリットが得られます。



誰でも簡単に使える



すぐに効果を実感できる



データを整理したり移動する必要がない



システム管理者の手間がかからない

## 4. リプレースする際に重視すべき2つのポイント

ファイルサーバを、単なる保管庫ではなく「**求めている情報を瞬時に教えてくれるナレッジ集**」と捉えることで、**ユーザーの使い勝手と生産性を同時に向上する「攻めのリプレース**」を行うことができます。リプレースの際には、下記の2点をぜひ重視してみてください。

### 検索性能

- 欲しい情報にすばやくたどり着けるか
- データの作成者がわかるか
- あいまいな言葉でも検索できるか

### 他システムとの連携性

- 他のファイルサーバ、クラウドストレージ、社内ポータル等も含めて検索できるか

## 4. ポイント①検索性能

検索性能は重要なチェックポイントです。

具体的には「レスポンス」「精度」「大規模対応」の3つの観点に注目して検討しましょう。

### 検索結果の レスポンス

速いとストレスなく活用でき、利用促進につながる  
遅いと業務の足を引っ張る結果に

### 検索結果の精度

- ・文書やデータ内に検索語句が含まれているかどうか
- ・検索意図に沿った結果が得られるか
- ・類似文書がヒットするか

### 大規模対応

利用者数・文書容量・対象範囲が大規模になっても、性能が安定して維持できるか

## 4. ポイント②他システムとの連携性

企業内で、複数のファイルサーバ、クラウドストレージ、社内ポータル等を活用している場合は、それらを横断的に検索できる構造を整備することをおすすめします。

データ置き場のあちこちを探す手間がなくなり、生産性が飛躍的に高まります。



# ナレッジ集を手軽に実現できるのが「エンタープライズサーチ」

「検索性能」と「他システムとの連携性」の両方を  
手軽に実現するのがエンタープライズサーチです。

エンタープライズサーチとは、社内外のデータを  
一括で横断検索できるようにするためのシステムです。

Windows標準のエクスプローラでは時間がかかっていた  
ファイル検索、あるいはクラウドストレージの検索機能では  
望むような検索結果が表示されないなどのケースでも、  
このエンタープライズサーチなら  
瞬時に目的のデータを見つけ出すことが可能となるでしょう。



## 現行踏襲よりも高コスト？

ファイルサーバにエンタープライズサーチを組み合わせるとなると、単にリプレースするよりもコストがかかり、社内稟議が通らないかも…と思われる方もいらっしゃるでしょう。

次のページに、エンタープライズサーチを導入した場合の導入効果算出方法をまとめました。導入費用と比較して判断するための指標としてご活用ください。



# エンタープライズサーチの導入効果算出方法

米IDCの調査（※1）では、平均的な社員は1人あたり週に9時間（約25% ※2）もの時間を、情報を探すために費やしていると報告しています。

1,000人以上の企業に勤める社員の平均給与が460万円（※3）で計算した場合、

$$460\text{万円} \times 25\% = 115\text{万円/人}$$

に相当するコストが調査に費やされていることとなります。

例えば10%の時間を削減でき、それを価値換算すれば、

$$115\text{万円} \times 10\% = 11.5\text{万円/人}$$

となり、それが1,000人規模の企業で1/3（※4）の社員の方に効果があるとすれば

$$11.5\text{万円} \times 1,000\text{人} \times 1/3 = \text{約3,840万円/年間}$$

もの価値を本質的な業務にシフトできることとなります。

※1 <http://www.scribd.com/doc/6138369/Whitepaper-IDC-Hidden-Costs-0405>

※2 1日の業務時間を7.5時間とし、9÷（7.5×5日間）で計算

※3 国税庁 平成22年 民間給与実態統計調査結果

※4 全ての社員の方が使用するとは限らないため

# パナソニック デジタルがおすすめる「Neuron ES」

パナソニック デジタルがおすすめるエンタープライズサーチは「Neuron ES」です。エンタープライズサーチとしては後発製品ながら、大手企業を中心に400ライセンス以上の導入実績を有しており、IT製品・サービス比較サイト「ITトレンド」のエンタープライズサーチ部門において8年連続1位を獲得しています。



# パナソニック デジタルがおすすめする「Neuron ES」

クラウドもオンプレも対応可能で、それぞれの認証システムと連携しながらシンプルに賢く横断検索できるエンタープライズサーチです。

The screenshot shows the Neuron ES search interface with several callout boxes highlighting key features:

- 誰でも欲しい情報にリーチできるインテリジェント検索** (Intelligent search that reaches information everyone wants): Points to the search bar and filters.
- 誰が何に詳しいのか Know WHO検索** (Know WHO search): Points to the search results.
- サムネイル・プレビューで欲しい情報を直感的に確認** (Intuitive confirmation of desired information with thumbnails and previews): Points to the thumbnail and preview area.
- 類似文書をサジェスト** (Suggest similar documents): Points to the 'おすすめリンク' (Recommended links) section.
- 利用者の権限に応じて検索結果を表示** (Display search results according to user permissions): Points to the search results.
- 選択したリポジトリを横断検索** (Cross-repository search for selected repositories): Points to the '取得元' (Source) filter.
- 欲しい情報に素早くリーチする絞込検索** (Narrow search to reach desired information quickly): Points to the '絞り込み' (Filter) section.

The interface includes a search bar with 'neuron 提案書 - 見積', filters for '条件' (Content, File Name, etc.), and a list of search results with thumbnails and previews.

# パナソニック デジタルがおすすめする「Neuron ES」

管理者用画面では、利用者の検索履歴から興味・関心どころのトレンドを可視化でき、業務改善策の立案に活用可能です。



# Neuron ESが選ばれる4つの理由



## シンプル

高機能ながらもマニュアルレスで直感的に利用できるシンプルな操作感。誰でも迷いなく使い始めることが可能。



## 検索機能

横断検索機能により、探す前に資料がどこに保存されているかを考える必要なし！インテリジェントな検索機能で、利用者に新たなインサイトも提供。



## 低コスト

利用者数、サーバ数に依存しない無制限ライセンスで、大規模でも安心。スモールスタートしやすい月々9万円～のサブスクリプションモデルも好評。



## 検索性能

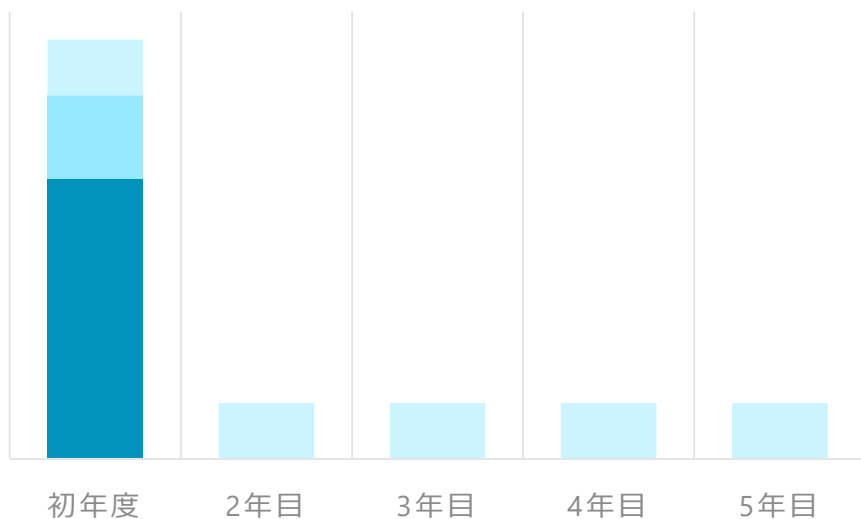
独自開発の高速クローラーによって、欲しい情報がすぐに検索対象に。さらには、300TBを超える文書群からでもサクサク検索。

# ライセンス体系

ご予算や利用シーンに合わせて最も高コスパなライセンスをご提案します。

## 買取型

■ ライセンス費 ■ 導入費 ■ 保守費

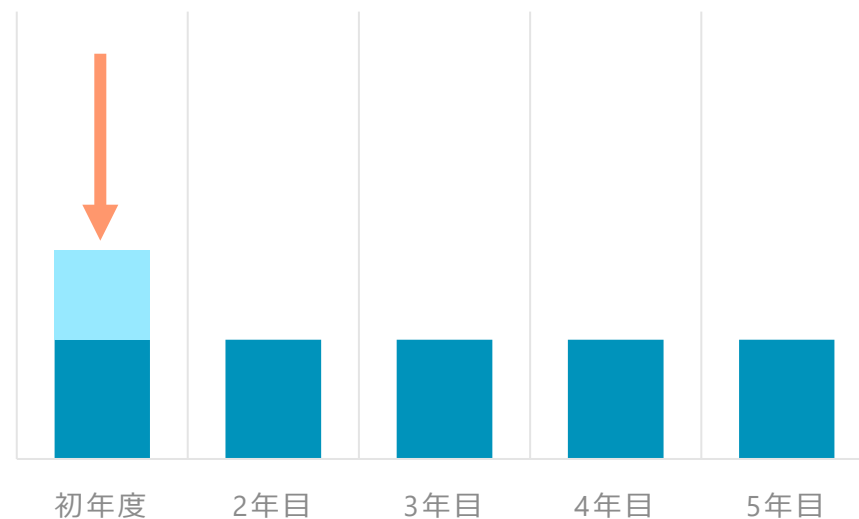


ライセンス費：180万円  
(200万文書までの場合・目安2TB)

- ・ 長期利用を見据え最もお得に利用したい
- ・ 資産として計上したい

## サブスクリプション型

■ ライセンス費(保守込) ■ 導入費

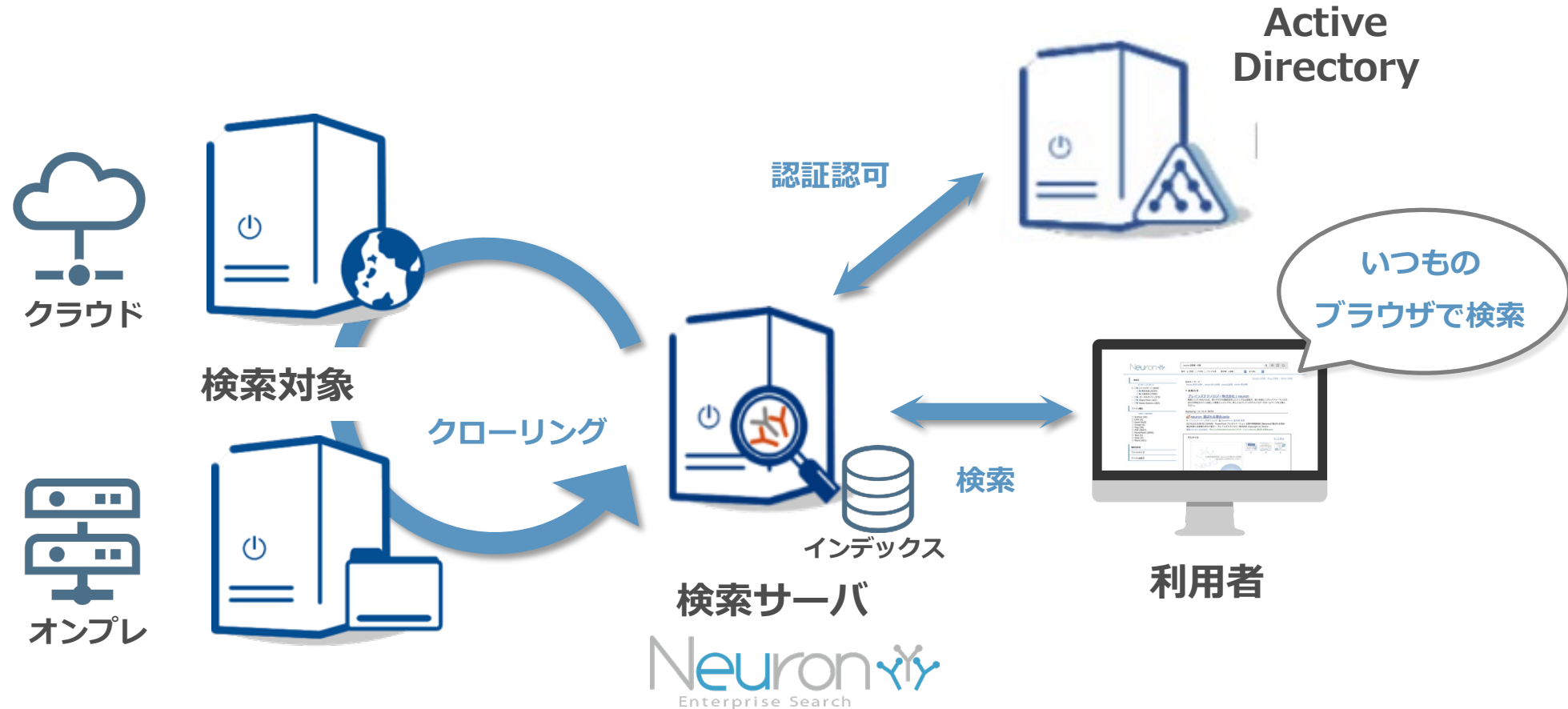


ライセンス費：9万円/月  
(200万文書までの場合・目安2TB)

- ・ 今後のシステム変更等に備え初期費用を抑えたい
- ・ 経費として計上したい

# 検索の仕組み

既存システムに変更を加えることなく検索対象をクローリング\*。利用者はいつものブラウザで検索するだけです。



\*クローリング…検索対象の文書からテキストを抜き出しインデックスを作成すること

# 機能・技術仕様（検索支援機能）

## 🔍 検索支援機能

機能	機能説明
画像検索	サムネイル表示・プレビュー表示で視覚的による文書検索を支援する機能
絞り込み（ファセット）	取得元リポジトリ、文書タイプ、所有者、文書サイズや更新年月日によって文書を絞り込む機能
高度な検索	キーワードに追加入力することでより意図に近い検索結果を表示させる機能
ファイル名検索	ファイルのパスに含まれる情報のみを検索対象とする機能
ハイライト	検索結果の画面で、結果の中の検索語句をハイライト表示する機能
ソート	検索結果を日付順、人気順、関連度順、ファイル名でソートする機能
関連キーワードレコメンド	入力された検索語の同義語や、いままでに検索されたキーワードから同時に検索されやすいキーワードを推薦する機能
関連文書検索	選択した文書と関連性、類似度が高い文書をおすすめリンクとして表示する機能
重複排除	重複するファイルをまとめて表示する機能
検索履歴	これまで検索したキーワードの履歴と、クリックしたコンテンツの履歴を最大で1年分確認することができる機能
ユーザ辞書登録	ユーザ独自の辞書を定義し登録する機能
標準辞書	IPADIC（30万語）の辞書を内包
画面設定	検索結果表示件数の変更やファセット表示の変更等、検索画面の設定が行える機能
タグ付け	フォルダやファイル毎にお客様独自のタグを付与する機能

# 機能・技術仕様（対応レポジトリ）

## ☰ 対応レポジトリ

レポジトリ	サーバ環境
ファイルサーバ	SMB1, SMB2, SMB3対応ファイルサーバ（Windowsファイルサーバ, Samba, NetApp, NAS等）
ファイルシステム	Windowsファイルシステム（NTFS）, Linux
Webサーバ	HTTP/HTTPS
データベース	Oracle, SQL Server
SharePoint	SharePoint 2013, 2016
SharePoint Online	<a href="https://xxxx.sharepoint.com">https://xxxx.sharepoint.com</a>
Notes	Notes/Domino 6.5以降
Box	<a href="https://Box.com">https://Box.com</a>
Dropbox	<a href="https://www.dropbox.com/xxxxx/">https://www.dropbox.com/xxxxx/</a>
Google Drive（予定）	<a href="https://drive.google.com/xxxxx/">https://drive.google.com/xxxxx/</a>

（※）データベースは一例です。他のデータベースをご希望の場合はお問い合わせください。

（※）上記に掲載されていないレポジトリをご希望の場合はお問い合わせください。

# 「Neuron ES」紹介資料のご紹介

「企業内検索エンジンNeuron ES」について  
詳しく説明している紹介資料です。



ダウンロードはこちら

お問い合わせ先

---

## パナソニック デジタル株式会社

お問合せ <https://service.digital.panasonic.co.jp/contact>



※本資料に記載された社名および商品名などは、それぞれ各社の商標または登録商標です。